

社会福祉法人 微笑福祉会
野登ルンビニ園 平成26年度事業報告書

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成と保育日数

クラス名	年齢	規定 保育士数	園児	
			4月数・年度末予定数	3月数
つくし	0歳	1	0・2	3
	1歳	1	3・5	6
たんぽぽ	2歳	2	9・14	15
ばら	3歳	1	10・13	15
さくら	4歳	1	18・17	18
ひまわり	5歳	1	17・16	16
フリー		2		
一時預かり チューリップ組		1		
園児合計			67名	73名
子育て支援センター		2		
児童館		2		
延長保育担当フリー		1		
職員合計		22名（保育士15人 その他7名）		

月別保育予定日数（ ）内は土曜日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 開園 289日 一時 241日
20(4)	21(3)	20(5)	22(4)	20(4)	19(4)	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
22(4)	20(4)	19(4)	20(4)	19(4)	19(4)	

イ 行事予定

日々の行事、食育、お出かけ保育、園開放予定 ※行事予定表参照

ウ チューリップ組

- 一時預かり 年間利用延べ数 372人
- チューリップ組ベビー（月齢 5か月より） 年間利用延べ数26人
- 特定保育（コース利用）年間利用延べ数 799人

エ 子育て支援センター

- 水曜遊ぼうデー、木曜リトミック、毎月第3火曜茶道講座、毎月一回フラワーアレンジメント講座等、野草料理教室、座談会、人形劇等の行事に加え、絵本の読み聞かせや右脳開発のフラッシュカードを親子で体験することで、今の時期の発達に必要な啓発を行った。
- 細かい予定は ※行事予定表参照

エ 健康管理と食育

- ・毎月身体測定をし、生育を確認
- ・ブレインジムの導入2年を経て、毎朝の体操後に PACE を取り入れた。
- ・「もぐキッズ」を月に数回行い、食材を詳しく観察したり、種や苗から育てた野菜の収穫・調理、調理法の違いなどを詳しく伝えることが出来た。本来なら家庭で自然に行われている「教育」がいろいろな意味で無理になってきたこの時代に、衣食住を通じて子ども

も達に「文化」を伝える基礎を作る

オ 安全管理

交通安全教育

非常災害時の避難訓練(火災、地震、不審者) 毎月1回～2回行い、終了後改善点などを反省として書き出し、次回に反映させるよう訓練を行った。

(2) 職員の処遇

ア 労務、給与、福利厚生に関して

○昇給は最高額で15,800円アップ、本人の申し出により18,000ダウンと、平均するとマイナスになったが、夏冬に加えて年度末の賞与も支給することが出来た

○健康診断 のぼのクリニックにて診察 全員異常なし

○細菌検査 調理員は月2回の検便

乳児担当のみ(パート含む) 毎月1回検便

その他食育に対する行事等での保護者(役員等)の手伝い時の検便

○福利厚生委員の企画で、御殿場への親睦旅行、新年会、歓送迎会を行った

イ 職員会議

○定例会 毎月第2土曜日を基本としたが、行事が重なる月は平日の1時間程をあて各行事進行の確認や、気になる子ども、職員の不安解消等の話し合いを行った。

○随時招集のもの・・・行事前打合せ会議、各委員会ミーティング、ケース会議、RP会議 等 必要なときに担当が召集し行った。

ウ 研修計画

○三重県保育協会各種研修

○社会福祉協議会研修

○日本福祉協議会各種研修

○中部地区研修

○亀山市連絡協議会研修

○発達障害や気になる子についての研修

○リズム研修 等お知らせがある度職員に詳細を回覧し、希望者が参加した

2 地域社会との連携

○野登地区推進協議会の協力にて、地元の方のご招待を引き続き行い、交流をもつ(お散歩、運動会、作品展他)

○敬老会や地区運動会など、地域の行事への参加

○いのこなどの伝承行事を継承するため地域の方の指導

○今年度出来たデイサービスの施設が園と隣接しているため、出かけて行ったりご招待したりして交流を行った